

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

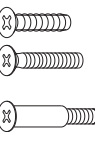
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

プッシュプルハンドル	取付ねじ	部品交換要領書
 HH-4K-13863(64) HH-4K-15215(16) 1 セット	 錠ケース取り付け用： 皿 M4×16×2 本 ハンドル取り付け用 (ドア厚 36)： 皿 M5×30×4 本 ハンドル取り付け用 (ドア厚 42)： 段付皿 M5×40×4 本	 本書 1 枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

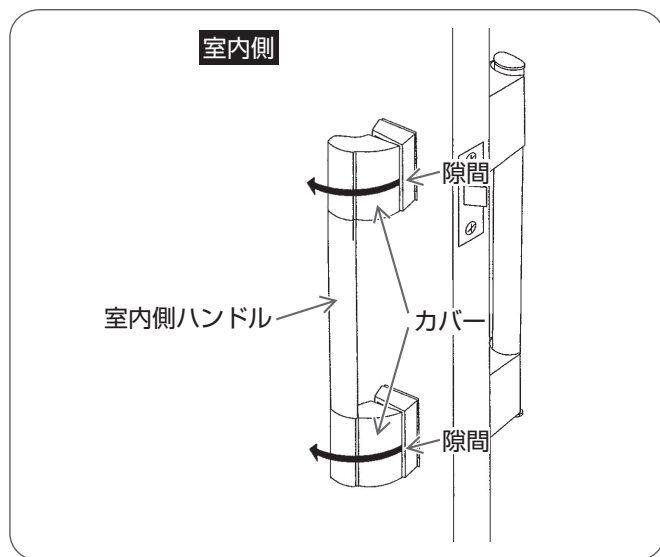
プラスドライバー
  1 本

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 室内側ハンドルのカバーの取りはずし



カバーと台座の隙間に指をかけ、戸先側からカバーを矢印方向へ押し上げるようにはずす。

※部品の取り付け方は 3・4・5 ページをご覧ください。

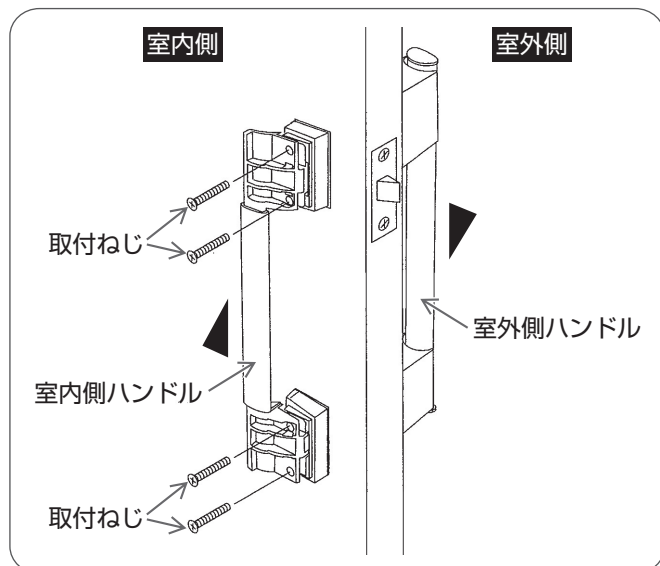
部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

2 ハンドルの取りはずし

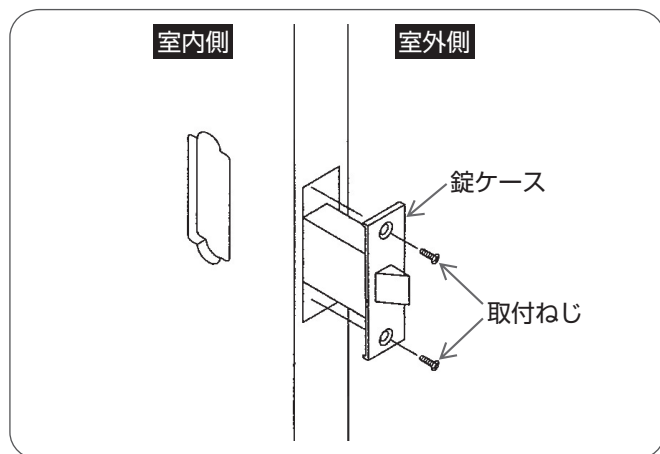
※本図は、ストレートタイプ右勝手で説明しています。



室内側よりプラスドライバーで室内側ハンドルの取付ねじをはずし、室内側および室外側ハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。

3 錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースをはずす。

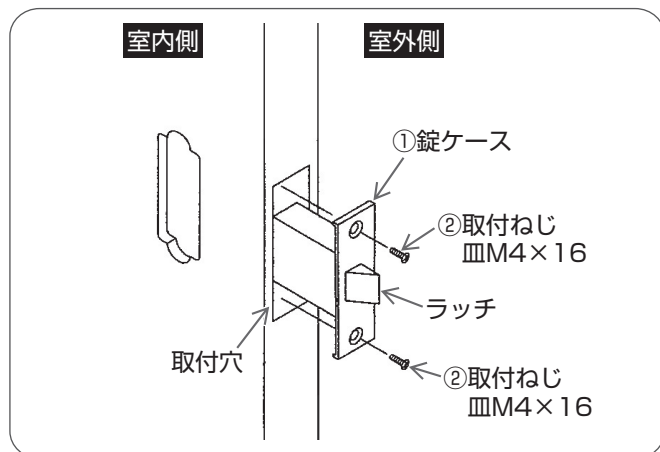
※部品の取り付け方は3・4・5ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

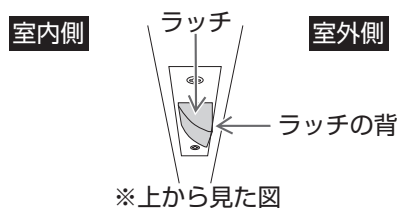
1 錠ケースの取り付け



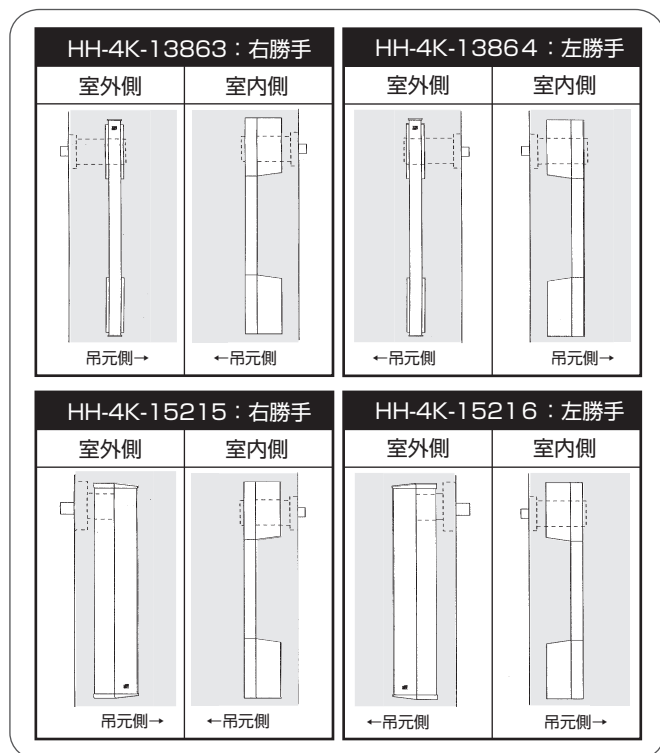
①ラッチの背(フラットの面)が室外側に向くようにしてラッチケースを取付穴に差し込む。

※本図は右勝手を説明しています。

②プラスドライバーで取付ねじをしめる。



2 ハンドル取付外観の確認



品番に合わせて室外側および室内側ハンドルの取付状態を確認する。

- ・ストレートタイプ
HH-4K-13863 : 右勝手
HH-4K-13864 : 左勝手
- ・プレートタイプ
HH-4K-15215 : 右勝手
HH-4K-15216 : 左勝手

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

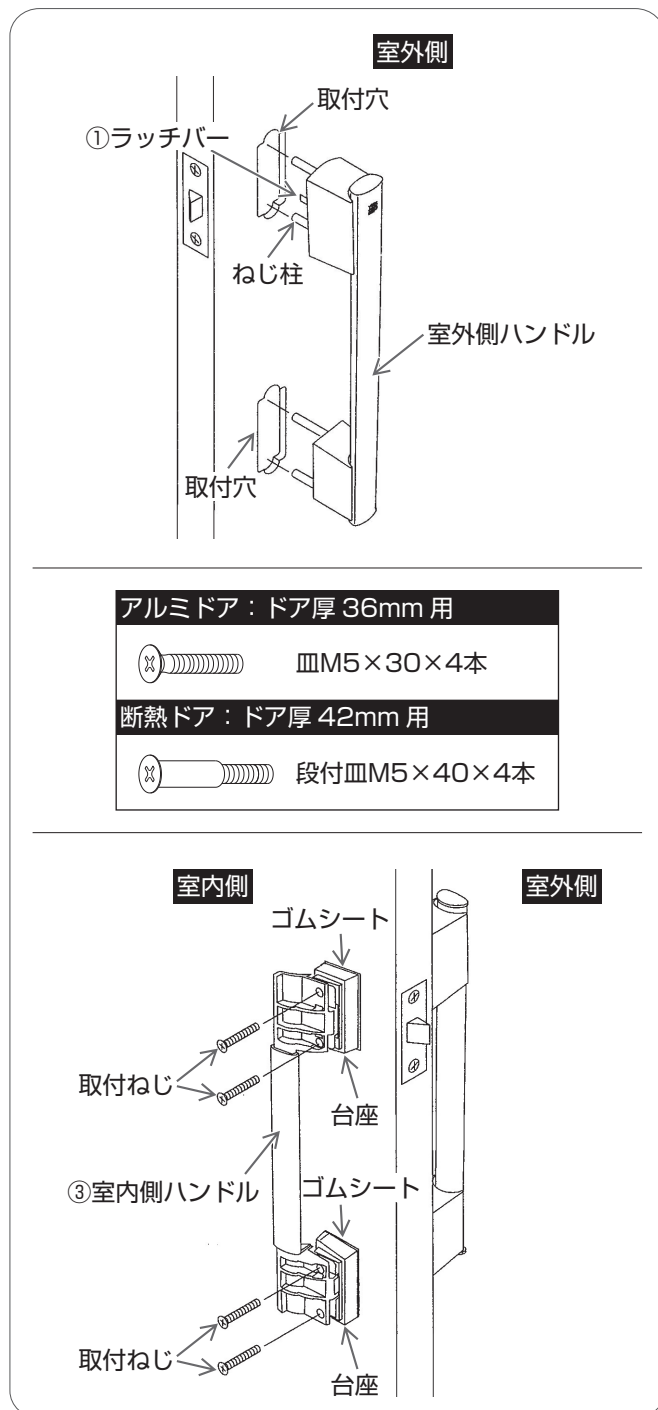
部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

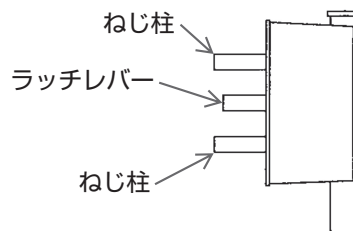
3 ハンドルの取り付け

※本図は、ストレートタイプ右勝手で説明しています。



①室外側よりラッチレバーを上にして、室外側ハンドルを取付穴に差し込む。

※ラッチレバー詳細図



②ドア厚に合った取付ねじを確認する。

※間違ったねじをご使用になるとハンドルのガタつき、ドアのへこみやハンドルが脱落するおそれがあります。

③室内側より室内側ハンドルをドア吊元側へ押し操作できるよう取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

※台座に取り付けられているゴムシートを台座形状に合わせて位置を調整しながら取り付けてください。

④ハンドルの動きを確認し、重い場合は取付ねじをゆるめてハンドルの位置を上下左右に調整し、再度取り付ける。

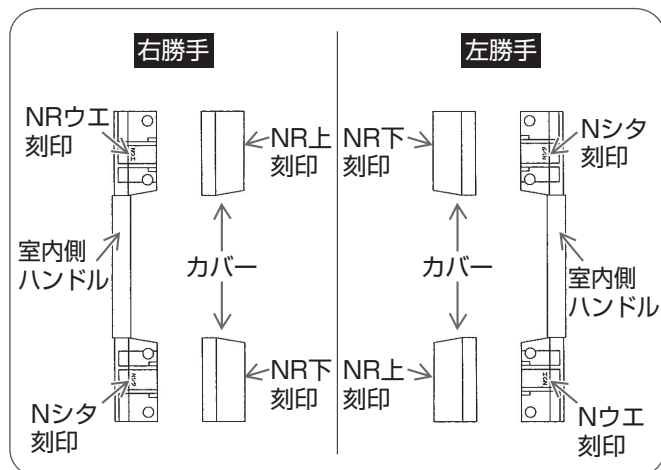
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

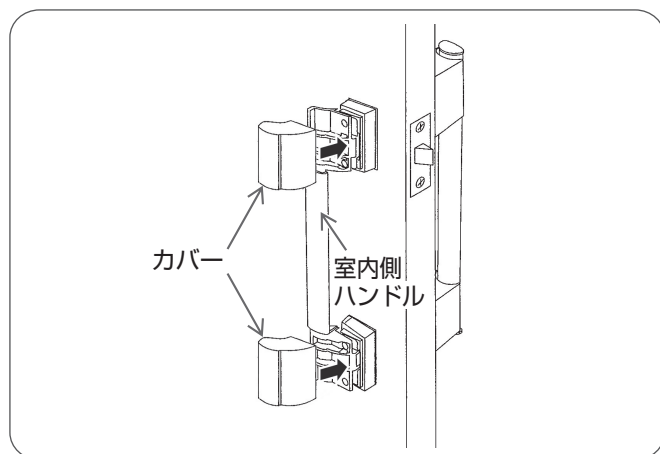
4 カバーの取付位置の確認



勝手によって、室内側ハンドルとカバーの刻印表示を下表の通り合わせる。

	右勝手		左勝手	
	ハンドル	カバー	ハンドル	カバー
上側	Nウエ	NR上	Nシタ	NR下
下側	Nシタ	NR下	Nウエ	NR上

5 カバーの取り付け



- ①カバーをハンドルの正面からスライドさせるように、差し込んで取り付ける。
※カバーは奥までしっかり差し込んで下さい。

部品の交換後のチェック



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ハンドルを動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。